

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	企画部総務課		■担当係	市史編さん室
■評価事業名称	市史編さん事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	010200 - 501	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	02 社会教育の充実		
	■施策	03 社会教育機能の充実		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	既刊の北上市史には明治時代以降の資料編と旧北上市・江釣子村・和賀町のすべてを網羅した通史編が無いため、新北上市史として整備を行うもの。市史編さん委員会の開催、市史編さん専門委員会の開催、部会の開催、資料収集、資料調査、市史執筆の準備、広報活動、普及事業の推進。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	市史編さん事業	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・市史編さん委員会(2回) ・市史編さん専門委員会(3回) ・専門部会(考古、古代班会、中世班会、近世班会、近代班会、現代班会、民俗部会、自然部会 各3回) ・資料調査(民俗、自然、古代、中世、近世) ・参考資料集の刊行 ・資料収集 ・広報活動(広報掲載、モニター広告放送) 	市史編さん委員会(1回)・市史編さん専門委員会(1回)・専門部会(自然2回、民俗2回、考古4回、古代3回、中世3回、近世2回、近代4回、現代5回)、資料調査(自然、民俗、中世、近世、近代)、参考資料集の刊行、資料収集(資料寄贈8件、図書寄贈7件、情報提供・借用12件)、広報活動(広報掲載、モニター広告、新聞取材、市民大学ゼミナール共催)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	333	2,161	3,332	13,328	
人件費	1,023	15,713	22,007	6,073	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,356	17,874	25,339	19,401	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
01	市史編さん委員会の開催	0	3回	2回	1回	委員会の開催数
02	市史編さん専門委員会の開催	0	0	3回	1回	委員会の開催数

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

03	資料収集	図書2件購入	他市町村史収集、参考図書収集	他市町村史収集、参考図書収集、資料寄贈8件	他市町村史収集、参考図書収集、資料寄贈6件	
04	先進自治体視察	1件	6件	2件	1件	視察件数
05	編集・校正	0	0	0	0	
06	市史刊行	0	0	0	0	
07	広報・普及事業	0	広報きたかみ掲載、写真展開催	広報きたかみ掲載、企画展開催(444名来場)、市民大学ゼミナール地元学部共催	広報きたかみ掲載、モニター広告掲載、新聞取材1件、参考資料集刊行、市民大学ゼミナール地元学部共催	
08	部会の開催	0	0	自然2回、民俗2回、中世2回、近世1回、近代1回	自然2回、民俗2回、考古3回、古代3回、中世3回、近世2回、近代4回、現代5回	部会の開催数
09	資料調査	0	0	自然(地質10回、植物3回、動物1回)、民俗1回、近世1回	自然(地質、植物7回、動物15回)、民俗8回、中世(文献1回、板碑1回、城館21回)、近世2回、近代3回、現代1回	調査回数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

当初はH32年度に2冊刊行予定であったが、うち1冊はH33年度に延期した。これに伴い、他の刊行スケジュールも1年ずつ延期する。これは調査成果の増加に伴う頁数の増加によるもの。全体計画を修正の上継続する。

問題点・課題等

史跡及び史料の全容が不明であるため、今後の史料の発見により作業スケジュールは随時見直しが必要である。また、今後は、現在の調査に加え、執筆打合せ・校正・印刷及び広報の事務が複数の巻で並行するため、人員の不足が見込まれる。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了